

2025年度

学校名 静岡市立清水三保第二小学校

対象学年 6年生

① 学習指導案

プログラム	No.10「校歌の風景を見つめてみよう」 No.05「地域カルタをつくろう」								
単元名 (全 時間)	三保松原を守ろう (全30時間)								
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 校歌の歌詞に描かれている情景を調べたり、地域の様々な方の話を聞いたりすることを通して、自らの地域の素晴らしい自然や歴史や文化などを知る。 地域の素晴らしさや特色について実感し、それらを周囲の人々へ伝え、守っていく方法を考え、表現することができる。 地域の素晴らしさを発見し、郷土への愛着や、それらを守る立場としての自覚を育てる。 								
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 校歌に描かれている情景の場所を探す。 情景の場所やそこでの風景には、それぞれどのような価値があるか考える。 地域の施設や地域の方から話を聞き、地域の自然や歴史や文化などの価値を改めて知る。 地域の一員である自分たちにできることを考える。 「大切な三保松原を守ろうカルタ(仮)」を作成する。 地域の方や観光客等と、「大切な三保松原を守ろうカルタ(仮)」で遊び、まちの景観を守るための啓発を行う。 								
参考資料 準備品 実施場所等	<table border="0"> <tr> <td>(準備品)</td> <td>(参考資料)</td> </tr> <tr> <td>・校歌</td> <td>・郷土読本(ふるさと三保Ⅲ)</td> </tr> <tr> <td>・地域の地図</td> <td>(実施場所)</td> </tr> <tr> <td>・クロムブック(パソコン)</td> <td>・校内または学校周辺、地域</td> </tr> </table>	(準備品)	(参考資料)	・校歌	・郷土読本(ふるさと三保Ⅲ)	・地域の地図	(実施場所)	・クロムブック(パソコン)	・校内または学校周辺、地域
(準備品)	(参考資料)								
・校歌	・郷土読本(ふるさと三保Ⅲ)								
・地域の地図	(実施場所)								
・クロムブック(パソコン)	・校内または学校周辺、地域								

学習の流れ

※ こちらは、実施前に「流れの案」として作成したものです。

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	<p>○小学校卒業に向けて、わたしたちの校歌を今一度見つけなおそう。(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌詞にこめられた意味は何だろう。 「潮路」「松風」など、三保松原に関係しているような言葉が多く出ているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 校歌の歌詞カードを配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞にこめられた意味を考えている。(思考)
2	<p>○実際に、歌詞のその部分分かる所に行ってみよう。(実地調査)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地区の地図を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞に描かれた場所を考えなが

	<ul style="list-style-type: none"> • 見つけた。写真を撮りたいな。 1番…太陽、富士の高根 2番…波、潮路、沖 3番…浜の松風、花の文化 	<ul style="list-style-type: none"> • 一人一台、クロムブックを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ら調査している。(思考)
1	<ul style="list-style-type: none"> ○実地調査した場所を整理しよう。 • 海岸周辺のことを多く歌っている。 • 校内から見える景色のことも歌っている。 ○これらの風景は、それぞれわたしたちや地域にとって、どのような価値があるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 調査した写真と場所を、ワークシートにまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 調査したことを整理することができる。(思考)
1	<ul style="list-style-type: none"> ○考えたことを発表しよう。 • わたしたちは、この学校にいて、あたり前のように感じている風景だったけれど、これはとても貴重でなかなか無いものなのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 4月に他地域から転入してきた児童に、前の学校と比べた気づきを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の風景の価値について、考えられている。(思考)
8	<ul style="list-style-type: none"> ○みほしるべの見学をしよう。 ○みほしるべの職員のお話を聞こう。 ○自治会長のお話を聞こう。 ○地域の景観を守るために尽力している方(合志さん)のお話を聞こう。 ○羽衣の松の世代交代記念行事の様子を見てみよう。 ○能「羽衣」を鑑賞しよう。(R7/10/11) • 松を保全するために、このような活動を行っているのか。 • 「羽衣の松」、「羽衣伝説」、「能」、「富士山信仰」など歴史や伝統や文化があることも分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の方にゲストティーチャーを依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の素晴らしさを形作る要素を知る。(知識)
2	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の一員である自分たちにできることを考えよう。 • 松原を守るためのマナーやルールを、もっとみんなへ知らせたい。 • 三保松原の素晴らしい「自然・歴史・伝統・文化」を伝えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> • 思考ツールを活用し、実現可能か議論しやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の素晴らしさを守ったり伝えたりするための方法を考えている。(思考)
4	<ul style="list-style-type: none"> ○「大切な三保松原を守ろうカルタ(仮)」を作ろう。 • どの題材を、どのような文で伝えようかな。 • 字や絵は、このぐらいの大きさにしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 必要な材料をそろえる。 	<ul style="list-style-type: none"> • より伝わりやすくなるように、試行錯誤している

2	○カルタ会の準備をしよう。 ・司会が、歴史の価値について話せば、三保松原のよさが伝わると思うよ。		る。(思考) ・自分たちの伝えたい思いを表現できるような会の進行方法を考える。(思考)
2	○地域の方や観光客等とカルタで遊ぼう。	・地域のS型サービスの方や近隣の学校などと交流したい。	・自分の考えや思いを伝える。(表現)
1	○まとめよう。 ・カルタを通して、まちの景観を守るためのルールやマナーが伝わったと思う。 ・アンケートを読んだら、歴史ある文化や伝統をもっと大切に感じてもらえたことが分かるよ。		・自分たちの活動の成果や課題を振り返ることができる。(思考)




<留意点>

- ・カルタ作りは、あくまでも方法の一つである。教師がカルタ作りに誘導しすぎないように配慮する。(カルタ以外の方法を考えて実施する児童がいてもよい。)






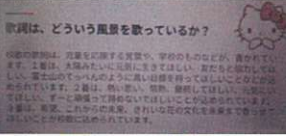

② 事業実施報告書詳細

学校名 静岡市立清水三保第二小学校







時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	多目的室	みほしるべの職員のお話を聞く。 ・三保松原とは ・世界遺産、国の名勝 ・松枯れの原因 ・松葉かきについて を知ることができた。	  	<p>・「三保松原は、世界遺産だから、世界でも誇れる地だということが分かった。」</p> <p>・「松葉かきをしないと、松が枯れてしまう。三保松原を守るために、みんなで松葉かきをしたい。」</p> <p>→地域の自慢の三保松原を、自分たちの手で守っていきたい思いをもつことができた。</p>

1	三保松原	<p>近隣校の三保一小・五中の児童・生徒と共に、三保松原にて松葉かき「クリーンアップ羽衣」を行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「松葉かきを行うことで、観光施設が美しくなるのと同時に、松の保全にもつながっていることが実感できた。」
3	みほしるべ	<p>みほしるべ館内を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松の樹齢や種類、病気 ・松枯れ、枯れた松の処理方法 ・三保半島の成り立ち ・海と松と富士山の美しい関係 ・羽衣伝説、能「羽衣」 ・日本人と三保松原の関係 ・三保松原に関する絵師や作品 <p>を知ることができた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「三保松原を目当てに、たくさんの人々が観光に来ていることが分かった。」 ・「羽衣伝説につながりがあることが分かった。」 ・「松を食べて枯らしてしまう、マツノマダラカミキリが見られなかった。次は見てみたい。」 <p>→三保松原の価値を、多面的・多角的に感じる事ができた。</p>
1	教室	<p>折戸地区連合自治会長のお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の松林も、薬剤散布を定期的に行っていること ・自治会で、海岸清掃ボランティア活動を実施していること <p>が分かった。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「薬剤の散布は、自分たちでは行えないのが分かった。」 ・「海岸清掃に行ってみよう。」 <p>→自分たちには何ができるか、考えるきっかけを作ることができた。</p>

1	教室	<p>みほしるべの職員のお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 病気や松枯れ（マツザイセンチュウ病） • マツノマダラカミキリの標本、センチュウの動画 • 薬剤散布、伐倒駆除、樹幹注入により対応していることを知ることができた。 		<ul style="list-style-type: none"> • 「病気の対策として、様々な取り組みをしてくださっていることが分かった。」 <p>→松枯れの対策や保全活動をしていることを、知ることができた。</p>
1	教室	<p>ごみ減量推進課の方のお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 海洋ごみ • マイクロプラスチックの問題を知った。 		<ul style="list-style-type: none"> • 「三保の海岸で取れた砂の中には、マイクロプラスチックが含まれているなんて、驚き。」 <p>→自分たちも、現地調査をしてみたいという気持ちを高めた。</p>
2	三保松原	<p>世界遺産の三保松原には、どのような人が来ているのか、調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 駐車場のナンバープレート調査 • 外国人観光客にインタビュー <p>三保松原の海岸には、ごみが落ちているのか調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 海岸の砂を採取し、顕微鏡で観察する。 • 実際に落ちているごみを拾う。 		<ul style="list-style-type: none"> • 「県外ナンバーの車が多く停まっていた。」 • 「アメリカやメキシコから来ている方もいた。」 <p>→三保松原が、県外や外国の方も多く訪れている有名な観光地であることを実感した。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「焚き火の跡がある。」 • 「ごみがたくさん落ちていたよ。」 <p>→「三保松原を守りたい」という思いを強めることができた。</p>

1	<p>教室 昇降口</p>	<p>三保松原の海岸で拾ってきたごみの種類を調べ、分析する。</p> <p>全校児童、保護者、五中や三保一小的の職員、地域の方へ現状を伝えるために、昇降口へごみの展示をする。</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> 「たばこの吸い殻が多く捨てられていることが分かった。」 「流れ着いた網やタモなどもあることが分かった。」 <p>→現地でポイ捨てをする場合と、海から流れ着いたものの2種類があることを整理できた。</p>
2	<p>教室</p> <p>海岸 校庭 グラウンド</p>	<p>校歌の歌詞にこめられた思いや情景について考える。</p> <p>その歌詞の部分が分かる場所へ行き、写真を撮る。</p> <p>自分や学校にとって、その言葉や風景が、どのような価値をもつのか考え、その思いをスライドへまとめる。</p>	    	<ul style="list-style-type: none"> 「『潮路、波に乗せてる』などの歌詞は、学校のそばにある海の様子を表しているね。」 「『太陽、富士、窓』などは、学校から見える景色について謡っているよ。」 <p>→今まであまり実感できていなかった、「校歌に謡われている情景」の素晴らしさや価値に気づき、自分たちの学校だけのかけがえのない自慢であることを再認識することができた。</p>

2	教室	<p>校歌の歌詞を見返して実感した、「私たちの街のよさや自慢」を伝えるためのカルタを作成する。</p> <p>一枚見ただけでも三保松原や三保・折戸の街の景色・文化や歴史が伝わるよう、文言を工夫して制作するように心がけた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「三保松原の良さを伝えるカルタは、一枚ずつティッシュに入れて、たくさんの方へ配りたい。」 ・「せっかく作ったから、地域の方たちに、ぜひカルタで遊んでもらいたい。」 <p>→地域の方とつながり、三保松原の良さを知ってもらうための活動について考えた。</p>
1	教室	<p>由比北小、宍原小の5・6年生と、今までの学習で知ったり実感したりした「地域の自慢の風景やもの、文化など」を伝え合うリモート道徳授業を行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちの街以外の街の良さも知ることができた。」 ・「改めて、自分たちの学校や街の良さを感じられた。」 <p>→自分の街、他の街の良さを感じることができた。</p>
2	教室	<p>「三保松原を守ろう」をテーマに、自分たちでできることは何か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「焚き火はだめ」というようなルールを、地域の方へ伝えたい。 ・海岸のごみを地域の方と一緒に拾いたい。 ・三保松原の素晴らしさを伝えたい。 		<p>→グループごと、それぞれの思いを実現するための方法を考えた。</p>

		<p>•ごみを捨てるルールを守ってもらいたい。</p>		
1	教室	<p>折戸地区連合自治会長より、ポスターやチラシの内容へのアドバイスをもらう。</p>		<p>→チラシを回覧板で回したり、ポスターを地域の施設に貼ったりすると効果的だという助言をいただいた。</p>
1	職員室	<p>みほしるべに電話をし、内容の確認のためにチラシの写しをファックスする。</p>		<p>→後日、この内容でOKとの返事をいただき、折戸地区の145枚分の回覧板で回覧を回すことができた。</p>
	ごみ集積所	<p>海岸に流れ着かないよう、ごみ捨てのルールを守るためのプレートを作成する。</p>	  	<p>→後日、アパートの不動産へ連絡をし、ごみ集積所のフェンスにプレートを掲示することができた。</p>

2	折戸交流館 三保交流館 みほしるべ	三保松原の素晴らしさとマナーを啓発するポスターを貼るために、各所へお願いに行く。	 	<ul style="list-style-type: none"> ・「各施設の方が、快くポスター貼りをOKして下さったのが嬉しかった。」 ・「地域の方が、このポスターを読んで、三保松原を大切にしてくれたら嬉しい。」
1	海岸	<p>三保松原へとつながる道路が開通。「三保松原の入口」となる新道路の周辺の海岸清掃への参加を呼びかけるポスターを回覧板で回す。</p> <p>海岸清掃地域の方と一緒に海岸清掃を行う。</p>	 	<ul style="list-style-type: none"> ・「雨で中止というお知らせをしたにも関わらず、5人もの地域の方が清掃活動に参加してくれて嬉しかった。」 ・「海岸だけでなく、道中の道路や、学校の敷地内のごみも拾うことができ、スッキリした。」
4	新静岡駅 静岡駅周辺	<p>三保松原や街の風景を詠ったカルタを、ティッシュに挟み込む。</p> <p>より多くの人が行きかう駅周辺で、カルタティッシュ配りを行う。</p>	   	<ul style="list-style-type: none"> ・「初対面の人に話しかけてカルタティッシュを渡すのは、すごく緊張した。」「怖かった。」 ・「どうしたら受け取ってくれるか、よく考えて言葉をかけた。」 ・「相手の様子を見て、それに合った声かけを工夫した。」 ・「受け取ってくれた方が三保松原の素晴らしさを知ってくれたり、三保松原に行こうと思ってくれたりしたら嬉しいな。」 <p>→たくさんの人に三保松原の魅力や素晴らしさを伝えたいという思いをもって、443人の方にティッシュを配った。</p>

4	まつぼっくりこども園	<p>三保松原の自然の良さを、地域の子どもたちに伝えるためのイベントを計画する。</p> <p>イベントのチラシを作成する。</p> <p>イベント当日、年長児と交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 三保松原の自然（まつぼっくり）を用いたクリスマスツリー作り 三保松原カルタ遊び <p>の2つの活動を通して、三保松原の良さを知ってもらおう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 「年長さんたちがすごくかわいかった。」 「まつぼっくりでツリーを作ったことで、三保松原の自然っていいなと思ってくれたら嬉しいな。」 「三保松原カルタをきっかけに、三保松原の素晴らしさや、景色の美しさを知ってもらえて、もっと三保松原を好きになってもらえたら嬉しいな。」 <p>→今まで自分たちが学習してきたことをもとに、三保松原の良さを知ったり、大切にしようという気持ちをもったりしてもらうために、地域の子どもたちの年齢や興味に合った活動を考え、実践することができた。</p>
---	------------	--	---	---

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

総合的な学習の時間における「探究のサイクル」（課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現）を常に回し続けられるよう、当初予定していた指導案にこだわりすぎず、児童のその時の思いや意図に沿いながら活動を展開していくことを、なるべく意識して実施した。

また、地域の連合自治会長と一年間連携を取り、総合的な学習の時間の活動への助言を常にいただいた。そのおかげで、例えば「海岸清掃をやるとしたら、新道路の所がおすすめ。」「カルタで遊ぶとしたら、まつぼっくりこども園の年長さんたちは、どうかな。」など、授業者自身が考えていなかった良い視点やアイデアをいただけた。

(2) 実施にあたり苦労した点

いきなり「校歌の歌詞を見つめてみよう。」や「カルタを作ろう。」と提示しても、子どもたちは「なぜそれをやる必要があるのか？」という思いになってしまい、思考が途切れてしまうと思った。そのため、年間を通した大きなテーマが必要だと感じ、今回、私たちは「三保松原を守ろう」をテーマに設定し、①三保松原の良さを実感する(=歌詞を見つめる)、②三保松原の良さを伝える(=カルタ作り)につなげて実践することにした。

(3) 児童の反応

- ・校歌の歌詞を見つめる機会は、今まであまりなかったので良かった。校歌は、自分の学校の良さやそこに通う子どもたちへの願いがこめられていると思う。これからも、そんな美しい自然や明るさを、大事にしていきたい。
- ・カルタを初めて作った。今まで勉強してきた「三保松原の良さ」がつまっているカルタが作れた。友達やお母さんたち、年長さんたちと一緒に遊べて楽しかったし、まだまだ三保松原の魅力を伝えていきたい。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

総合的な学習の時間を進めていくにあたり、まさに「目の前の、生きた子どもの姿」を見つめていくことをおろそかにしないことと、私自身の知り得なかった情報を様々に提供してくださる「地域の方との連携」により、ご助言・ご協力を得ることの大切さを、改めて実感した。それは、本単元の授業以外でも、大事になってくることだと思う。ここで得た学びを、更に他の教科、他の学年へとつなげていけたらいいと思う。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

「活動したら終わり」ではなく、今まで取り組んできた活動について、その効果を検証しながら振り返っていききたいと思う。(例えば、ごみ集積所のごみは、その後、散らかってはいないか。海岸は、その後、本当にきれいに使われているのか。など) その振り返りをもとに、更にその先、また私たちがすべきことは何かを、子どもたちと共に追究していきたい。